記入例

様式第１号

令和８年　４月〇〇日

宮崎市長　清山　知憲　殿

申請者　住　所　宮崎市橘通西１丁目１番１号
所　属　宮崎市役所大学大学院
地域貢献研究科
氏　名　地域　貢献

宮崎市地域貢献学術研究助成金応募申請書
（学生枠）

令和８年度において実施する下記研究について、助成金の交付を受けたいので、宮崎市地域貢献学術研究助成金交付要領第２条の規定により応募します。

記

募集要綱の「助成対象となる研究」に沿ったテーマの研究としてください

１　研究の名称　ＡＩによる市役所窓口業務の効率化に関する研究

２　研究の類型　■指定テーマ型研究　□自由テーマ型研究

３　申請区分　■新規　□継続（　　年目）

４　研究期間　□単年度　■複数年度（■２か年・□３か年）

５　当該年度の申請額　金８００，０００円

６　添付書類
（１）申請者略歴（要綱様式第１号（別紙１））　※継続申請の場合は省略可
（２）学術研究実施計画書（要綱様式第１号（別紙２））
（３）収支予算書（要綱様式第１号（別紙３））
（４）要綱第２条各号に該当することを証する書類　※継続申請の場合は省略可
（５）指導教官による推薦書　※継続申請の場合は省略可
（６）その他　※継続申請の場合は省略可

別紙１

申　請　者　略　歴

氏　　名	ふりがな　ちいき　こうけん 地域　貢献
所　　属	宮崎市役所大学大学院　地域貢献研究科
住所・電話等	〒８８０－８５０５ 宮崎市橘通西１丁目１番１号 電話番号　0985-21-1711 e-mail　01kikaku@city.miyazaki.miyazaki.jp
生 年 月 日	２００２年　６月　１日　（満２３歳）
現在の職種	教授・准教授・講師・助手・その他（　　） 学生（課程：修士課程、学年：１年） ※該当するものを〇で囲んでください。
専 門 分 野	情報工学

■論文

発 表 年	論文等題目	掲載出版物名等
２０２１年	〇〇〇〇	〇〇〇〇

※最新のものから順に記載してください。

■学会等の研究発表

発 表 年	学会等の研究発表題目	学 会 名 等
２０２１年	△△△△	△△△△

※最新のものから順に記載してください。

別紙２

学 術 研 究 実 施 計 画 書

研究の名称	ＡＩによる市役所窓口業務の効率化に関する研究
研究の目的	※本市のどのような地域課題・行政課題の解決を目指すのか明確に記載してください。 人口減少及び少子高齢化の進展により、働き手不足が今後ますます進むことは確実であり、市役所も例外ではない。そこで、業務の一部をＡＩ（人工知能）に担わせ、限られた人材を有効活用する形態への移行が急務となっている。 行政によるＡＩ活用の先行事例としては、〇〇市などで住民による問い合わせへの対応の実証実験を行っている例があるが、宮崎市では未着手である。また、××の分野では…。 本研究では、宮崎市においてＡＩの活用が可能な業務を選定し、窓口担当課や市民のニーズを把握してマッチングを行い、ＡＩの活用に適した業務を選定する。その上で、ＡＩ導入による効果を試算し、短期的／中長期的に導入を推奨する業務に分類することを目的とする。
研究の内容	※参考資料等がある場合には別途添付してください。 【単年度・新規申請の場合】※研究内容を具体的に記載してください。 【複数年度（新規・継続）の場合】※全体の計画及び当該年度の計画が分かるように記載してください。 ・市の窓口業務を棚卸しするとともに、広く先行事例を求め、類型化し、ＡＩの活用が可能な業務を洗い出す。 ・サービスの供給側である市と受給側である市民のニーズ把握を行い、ＡＩの活用に適した業務を選定する。 ・ＡＩ導入にかかる費用と削減できる人件費の試算や、その他付随する課題や効果の整理を行う。 ・以上の結果をもとに、短期的／中長期的に導入を推奨する業務に分類する。 ・当該年度においては、～～～。
前年度までの進捗と実績	※継続申請の場合のみ記載。前年度までの計画に対する進捗状況、成果、及び生じた課題と対応策を記載してください。
	着手予定年月日（当該年度）　令和８年　６月　１日 完了予定年月日（当該年度）　令和９年　３月３１日 ※複数年度全体の完了予定　令和１０年　２月２９日

着手予定は６月１日、複数年度全体の完了予定は２月末日としてください。

研究の実施方法	・基礎研究として、国内外の先行事例調査を行い、類型化する。 ・担当課へのヒアリングにより市の窓口業務の棚卸し及び供給側のニーズ把握を行う。 ・市民（〇〇人）へのアンケートにより、受給側の意識調査を行う。 ・関連事業者と連携し、ＡＩ導入にかかる費用と削減できる人件費の試算や、その他付随する課題や効果の検討を行う。
	・◇◇大学情報工学部　（行政におけるＡＩの活用） ・宮崎市　Ａ課、Ｂ課…　（業務の把握、ニーズ調査） ・△△総合研究株式会社　（ＡＩ化の試算等）
想定される研究成果	・業務のＡＩ化に対する市民の意識の把握 ・ＡＩ化によるコスト試算 ・ＡＩ化により削減される業務量の試算 ・短期的にＡＩ化を推奨する業務、中長期的にＡＩ化を検討すべき業務の分類
審査項目に対する補足	※宮崎市地域貢献学術研究助成金交付要領に定める審査項目に対応する内容を簡潔に記載してください。 ※新規申請（単年度・複数年度の１年目）の場合のみ記載 ①宮崎市の課題との関連性 地方公務員においても職員の確保が急務とされている。～～～ ②期待される成果と社会への還元方法 業務のＡＩ化によるコストや業務量削減の検討が可能になることから、効率的な行政運営に資することが期待できる。～～～ ③計画の実現可能性（※複数年度の場合は全体の年次計画も） 研究の実施にあたり、市情報政策課へ研究の協力を依頼しており、連携が十分に図られる見込みである。～～～ ④学術的な独創性と妥当性 既存の研究と比較して、当研究は～～～。 ※継続申請（複数年度の２年目以降）の場合のみ記載 ①これまでの進捗と実績 ②期待される成果と社会への還元方法 ③今後の計画と実現可能性

応募申請時点で既に協力体制等が構築されているもの、または研究に着手する時点で協力体制等の構築が確実に可能なものを記入してください。

（注１）　１枚で記載できない場合は、複数枚に分けて記載すること。

（注２）　研究内容の概要を図式化等した資料をＡ３用紙１枚にまとめて別途添付すること。

別紙３

収　支　予　算　書

■複数年度の全体資金計画（※複数年度の場合のみ記載）
１年目（令和８年度）：８００，０００円
２年目（令和９年度）：６００，０００円
３年目（　　年度）：　　円
（※翌年度以降の金額は、現時点の見込みで構いません。）

■当該年度の収支予算
１．【収入の部】

項　目	金額（円）	内容及び積算
助成金	800,000	宮崎市地域貢献学術研究助成金

報償費、旅費は、各大学等の規定に従って算定してください。

２．【支出の部】

経　費	金額（円）	積算内訳	使途
報償費	200,000	・技術指導料（○○大○○氏） @10,000×10 日×１人＝100,000 ・データ入力補助 @800×５日×４人＝16,000　…	・○○実験の技術指導 ・アンケート調査結果入力
旅　費	150,000	・◇◇市視察（２泊３日） 交通費(往復)31,000＋宿泊費 13,100×２日＋日当 2,600×３日＝65,000　…	・先進地視察及び関係者との意見交換
消耗品費	50,000	・関連図書 @5,000×１冊×1.08＝5,400 ・実験試薬 @3,000×５セット×1.08＝16,200 ・インクカートリッジ@3,200×２本×1.08＝6,912　…	・基礎資料 ・○○実験に使用
印刷費	100,000	・アンケート調査票 @100×1,000 部＝100,000	・実態調査 ・○○実験
通信運搬費	50,000	・　補足調査票郵送料 @200×200 通＝40,000 ・実験器具運送費 @10,000×１回＝10,000	・アンケート調査フォロー ・○○実験に使用
使用料及び賃借料	150,000	・　実験施設借上料 @150,000×１日＝150,000	・○○実験に使用

その他 の経費	100,000	・ 臨床検査委託料 @100,000×１式＝100,000 …	
合　計	800,000		

（注１）　「積算内訳」は、「単価×数量×消費税＝金額」などのように、可能な限り詳細に記載すること。
「使途」には、本研究を実施するうえで当該経費を使用する目的等を簡潔に記載すること。

（注２）　１枚で記載できない場合は、複数枚に分けて記載すること。

■　本研究が市又は他の機関や団体等から補助金等の交付を別に受けている又は受ける予定の研究に該当するか否かについて、次のどちらかに○を付けてください。

該当する　・　該当しない

令和８年　４月〇〇日

推　薦　書

宮崎市長　清山　知憲　殿

所　属　宮崎市役所大学大学院 地域貢献研究科
所在地　宮崎市橘通西１丁目１番１号
役　職　教授
氏名　　学術　研究

私は、下記の者を指導教官として、宮崎市地域貢献学術研究助成金（学生枠）対象者として推薦します。

記

被推薦者の氏名	地域　貢献
専攻・学年	地域貢献専攻　１年
研究の名称	ＡＩによる市役所窓口業務の効率化に関する研究
推薦者連絡先	e-mail　01kikaku@city.miyazaki.miyazaki.jp 電話　0985-21-1711
その他特記事項 （任意記入）	本人を推薦する理由、本人が取り組んでいる研究テーマの特徴など、自由に記入してください。